



analytica Anacon India 2007

MESSE MÜNCHEN
INTERNATIONAL



ファイナルレポート

第4回 国際分析機器・バイオテクノロジー・ラボテクノロジー・サービス

専門見本市 / 国際会議

2007年10月31日～11月2日

インド・ハイデラバード / HITEX Exhibition Centre



2007年11月2日

～インド分析市場の最重要見本市としての地位を確立！～

Summary

- 出展社数、来場者数及び展示面積が飛躍的に拡大
- 出展社数は14カ国から142社で前回比9.2%増
- 来場者数は3,037人 - 前回比17%増
- 出展社の高い満足度
 - 出展社のターゲット分野から意思決定者が多く来場
 - ハイデラバードだけでなく、ムンバイ、チェンナイ、バンガロールなどインド全土および周辺各国からの来場者とコンタクトを獲得
 - 最新の設備を整えた新しい見本市会場
- analytica-Anacon Conferenceも大盛況のうちに終了
 - 基調講演には定員の120人が登録
 - 日本、アメリカ、ドイツ、シンガポールなどからの講演者を招待
 - 製剤分析、材料研究、クロマトグラフィー、質量分析などに関する最新イノベーションに関する25の会議プログラムに、合計約450人が参加



Facts & Data

会期	2007年10月31日(木)～11月2日(金) 午前9時～午後6時
会場	インド・ハイデラバード / HITEX Exhibition Centre
主催	ミュンヘン見本市会社 (Messe München GmbH) 国際見本市展示会サービス会社 (Internationaler Messe- und Ausstellungsdienst GmbH) India Analytical Instruments Association (IAIA)
規模	約4,200 m ² (前回比18%増)
出展企業	14ヶ国 142社 (前回比9.2%増 / 2006年: 11ヶ国 132社) →インド国外出展社は全体の50%超
来場者総数	3,037人 (前回比17%増 / 2006年: 2,592人)
専門分野	光学、ラボ技術、バイオテクノロジー、研究&リサーチ
主な出展品	分析技術・機器: 分析機器、顕微鏡検査、光学画像処理、クロマトグラフィー、分光測定機器、製薬品質管理 検査・測定・品質管理: 産業品質管理、材質試験、材質評価、薬品産業品質管理

	<p>ラボテクノロジー: ラボ用機器・技術・設備、ラボ用データシステム、試薬・化学製品・消耗品</p> <p>ライフサイエンス・診断: バイオアナリシス、バイオケミカル、バイオインフォマティクス、ライフサイエンス関連ラボ・バイオテクノロジー</p>
出展日系企業 (共同出展含む)	<p><日本登録> (株)アルバック、アルバック機工(株)、ジーエルサイエンス(株)、昭和電工(株)、東京理化学器械(株)、トミーデジタルバイオロジー(株)、(社)日本分析機器工業会、(株)ワイエムシィ <現地法人登録> Daicel Chemical Industries Ltd.、Shimadzu Analytical India Pvt Ltd.</p>
専用URL	www.analytica-anacon.com (英語)

分析技術・機器、ラボテクノロジー、ライフサイエンスの全分野をカバーした「Analytica-Anacon 2007」が、10月31日から3日間に渡ってインド・ハイデラバードで開催された。会期中インドのラボ関係者など3,000人(前回比17%増)もの意思決定者やユーザが、近代的な見本市会場 Hitex Center の全2ホールに来場し、機器分析、ラボテクノロジーやバイオテクノロジー分野における最新の機器、アプリケーションや製品の情報を集めた。また出展社数は前回より9.2%多く、14カ国から142社(2006年:11カ国から130社)で、ハイデラバードという場所、近代的な見本市会場、そして来場者の質すべてに高い評価をつけた。(出展社の国別:日本、アメリカ、アラブ首長国連邦、イタリア、インド、カナダ、韓国、コロンビア、スイス、スウェーデン、スペイン、中国、ドイツ、フランス)



(社)日本分析機器工業会 国際委員会副委員長の松田敏明氏は「非常に素晴らしい見本市で驚いているが、結果には非常に満足している」と話している。今回初めて2年連続で開催したのだが、多くの出展社から同じような声が聞かれた。出展社数、出展スペース、来場者数はすべて前回より増え、特に来場者の質の高さは著しく向上した。また開催地について、「ハイデラバードは Andhra Pradesh 州の首都であり、インドで5番目に大きい都市。すでに製薬、ファインケミカルやバイオテクノロジー、IT 産業の中心地であり、今後更なる発展が予定されている。IT 業界はラボの自動化や最適化に多く寄与している。また会場は国際基準を満たした近代的な設備が整っており、これも出展社、来場者の満足度を高める一因となった」と、ミュンヘン見本市会社 常務取締役 Hans-Joachim Heusler は話している。

来場者の多くは経営者と意思決定者

インドのラボ関係から多くの経営者層が来場していたことも、今回の大きな特徴の一つである。東京理化学器械(株)シンガポール事務所代表の二神啓彰氏によると、ブース来場者の多くは製薬会社やグローバルな製薬会社と契約しているインド代理店の意思決定権を持つ人や経営者やだったという。また Shimadzu Analytical India Private Limited 社 Deputy Managing Director の今道仙也氏は、最新のラボ・ソリューションを得ようと、インド各地から具体的な投資意思を持った上級経営者がハイデラバードに集まっていたと話している。このように、多くの出展社が見本市終了後に多くの商談締結を予測している。

今回の総来場者数は2006年を17%上回る3,037人。ハイデラバードからだけでなく、ムンバイ、チェンナイ、バンガロールなどインド各地から、またアラブ諸国やアジア諸国からの来場もあった。Merck Specialties PVT. Ltd.,社 Key Account Manager の Sumeet Pathare 氏は来場者の80%はハイデラバードからで、20%はそれ以外の地域からだったと話している。

ハイデラバード - 産業の集積地

機器分析、ラボテクノロジー、バイオテクノロジーにおけるインド市場の重要性が高まっていることは、全ての出展社が認識している。そして、その分野においてハイデラバードがすでにインドで最も大きなクラスターの一つであることは明白である。会期前にハイデラバード及びその近郊にある製薬会社を訪問した Bischoff Analysentechnik 社 Columns & Stationary Phases Manager の Dr. Stefan Lamotte 氏はラボにある設備がすべて最新のハイテク技術を駆使したものだと言う。ハイデラバードは「Pharmabad」とも呼ばれており、現在製薬、ファインケミカル、そしてバイオテクノロジー分野における拠点となりつつある。急成長が予測されているだけに、効率的なハイテク・ラボの需要が高まっているのだ。また、近代的なラボやグローバルな金融機関に必要な IT 産業も、徐々にハイデラバードに拠点を移しつつあり、今後急成長が予測されている。

「2008 年 3 月には、新しい国際空港が Hitex Center の近くが開港する予定で、合わせて高速道路や地下鉄などのインフラも整備される。これにより、見本市へのアクセスが向上するだけでなく、より多くの企業がこの地へ進出してくるだろう」と Hans-Joachim Heusler は今後の成長についてコメントしている。

analytica-Anacon Conference も大盛況

見本市と analytica Anacon Conference の共催パートナーである IAIA Vice President の S. Thyagarajan 氏は「今回世界基準を満たした Hitex Center で開催した analytica Anacon India 2007 はこれまでも増して大成功だった」と話している。

見本市と併催して開催された analytica Anacon Conference では、アメリカ、ヨーロッパ、日本、シンガポールなどから講演者を招待し、製剤分析、材料調査、クロマトグラフィー及び質量分析に関する最新技術について、3 日間に渡り 25 の講義が行われた。基調講演に定員の 120 人が登録するなど、合わせて 450 人がこの会議に参加したと IAIA では報告している。IAIA では次回プレゼンテーション数を 40 ほどに増やすことを計画している。

次回の analytica Anacon India は、2009 年秋に開催される予定。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.analytica-anacon.com まで。

次回予告

「Analytica 2008」	2008 年 4 月 1 日～4 日 於:新ミュンヘン国際見本市会場 www.analytica.de (英語 / ドイツ語)
「AnalyticaChina 2008」	2008 年 9 月 23 日～25 日 於:上海新国際見本市会場 www.analytica-china.com (英語 / 中国語)

資料請求、出展申込み、入場券購入、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン・インターナショナル 日本代表部

〒102-0075 東京都千代田区三番町 2-4 三番町 KSビル 5F 在日ドイツ商工会議所内

Tel.: 03-5276-3508 Fax: 03-5276-3509 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.com (英語 / ドイツ語)